

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。  
 詳細レポート全体につきましては[弊社ウェブサイト](#)をご覧ください。

## 2019年8月14日、株式会社フェローテックHDは2020年3月期第1四半期決算を発表した。

四半期業績推移 (累計) (百万円)	18年3月期				19年3月期				20年3月期	20年3月期			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	進捗率	上期会予	進捗率	通期会予
売上高	20,793	42,984	67,348	90,598	22,673	45,231	67,502	89,478	21,002	46.7%	45,000	22.8%	92,000
前年同期比	20.8%	14.2%	24.1%	22.7%	9.0%	5.2%	0.2%	-1.2%	-7.4%		-0.5%		2.8%
売上総利益	5,985	12,294	19,077	24,915	6,979	13,877	21,266	27,137	7,114				
前年同期比	22.8%	21.8%	30.9%	26.4%	16.6%	12.9%	11.5%	8.9%	1.9%				
売上総利益率	28.8%	28.6%	28.3%	27.5%	30.8%	30.7%	31.5%	30.3%	33.9%				
販管費	3,717	7,796	11,907	16,478	4,272	8,808	13,420	18,354	5,020				
前年同期比	14.8%	16.1%	18.1%	17.4%	14.9%	13.0%	12.7%	11.4%	17.5%				
売上高販管費比率	17.9%	18.1%	17.7%	18.2%	18.8%	19.5%	19.9%	20.5%	23.9%				
営業利益	2,268	4,498	7,170	8,437	2,707	5,069	7,846	8,783	2,094	48.7%	4,300	23.8%	8,800
前年同期比	38.5%	33.2%	59.8%	48.6%	19.4%	12.7%	9.4%	4.1%	-22.6%		-15.2%		0.2%
営業利益率	10.9%	10.5%	10.6%	9.3%	11.9%	11.2%	11.6%	9.8%	10.0%		9.6%		9.6%
経常利益	1,748	3,857	6,319	7,158	1,786	4,866	7,561	8,060	1,790	44.7%	4,000	22.1%	8,100
前年同期比	77.5%	83.0%	78.4%	26.1%	2.2%	26.1%	19.7%	12.6%	0.2%		-17.8%		0.5%
経常利益率	8.4%	9.0%	9.4%	7.9%	7.9%	10.8%	11.2%	9.0%	8.5%		8.9%		8.8%
四半期純利益	926	2,300	3,607	2,678	684	2,826	3,544	2,846	1,327	57.7%	2,300	28.2%	4,700
前年同期比	103.9%	122.5%	84.1%	-17.8%	-26.2%	22.9%	-1.8%	6.3%	94.1%		-18.6%		65.2%
四半期純利益率	4.5%	5.4%	5.4%	3.0%	3.0%	6.2%	5.2%	3.2%	6.3%		5.1%		5.1%

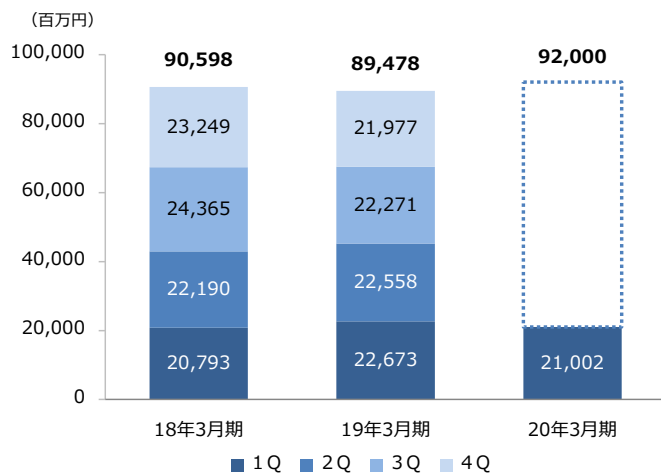
  

四半期業績推移 (3カ月) (百万円)	18年3月期				19年3月期				20年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	20,793	22,190	24,365	23,249	22,673	22,558	22,271	21,977	21,002
前年同期比	20.8%	8.6%	46.7%	18.7%	9.0%	1.7%	-8.6%	-5.5%	-7.4%
売上総利益	5,985	6,308	6,783	5,838	6,979	6,898	7,389	5,871	7,114
前年同期比	22.8%	20.8%	51.5%	13.6%	16.6%	9.3%	8.9%	0.6%	1.9%
売上総利益率	28.8%	28.4%	27.8%	25.1%	30.8%	30.6%	33.2%	26.7%	33.9%
販管費	3,717	4,078	4,111	4,571	4,272	4,536	4,612	4,934	5,020
前年同期比	14.8%	17.2%	22.1%	15.8%	14.9%	11.2%	12.2%	7.9%	17.5%
売上高販管費比率	17.9%	18.4%	16.9%	19.7%	18.8%	20.1%	20.7%	22.5%	23.9%
営業利益	2,268	2,230	2,672	1,267	2,707	2,362	2,777	937	2,094
前年同期比	38.5%	28.2%	140.6%	6.4%	19.4%	5.9%	3.9%	-26.0%	-22.6%
営業利益率	10.9%	10.0%	11.0%	5.4%	11.9%	10.5%	12.5%	4.3%	10.0%
経常利益	1,748	2,110	2,462	839	1,786	3,081	2,695	499	1,790
前年同期比	77.5%	87.8%	71.5%	-60.7%	2.2%	46.0%	9.5%	-40.5%	0.2%
経常利益率	8.4%	9.5%	10.1%	3.6%	7.9%	13.7%	12.1%	2.3%	8.5%
四半期純利益	926	1,374	1,307	-929	684	2,142	718	-698	1,327
前年同期比	103.9%	137.0%	41.3%	-	-26.2%	55.9%	-45.1%	-	94.1%
四半期純利益率	4.5%	6.2%	5.4%	-	3.0%	9.5%	3.2%	-	6.3%

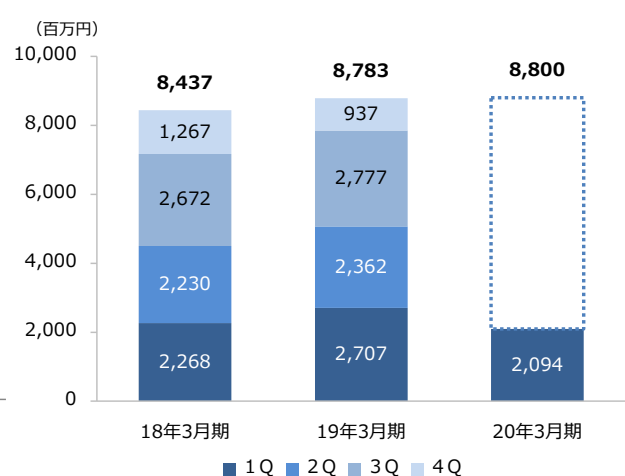
出所：会社データよりSR社作成

\*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意

### 四半期売上高の推移



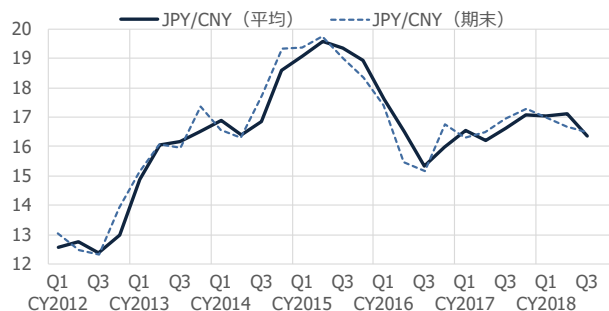
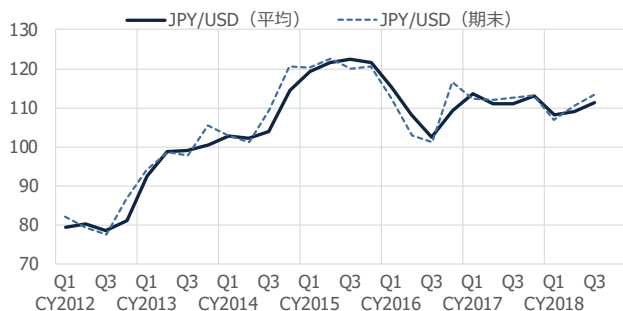
### 四半期営業利益の推移



出所：会社データよりSR社作成

\*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意

## 為替推移



出所：会社資料、みずほ銀行よりSR社作成

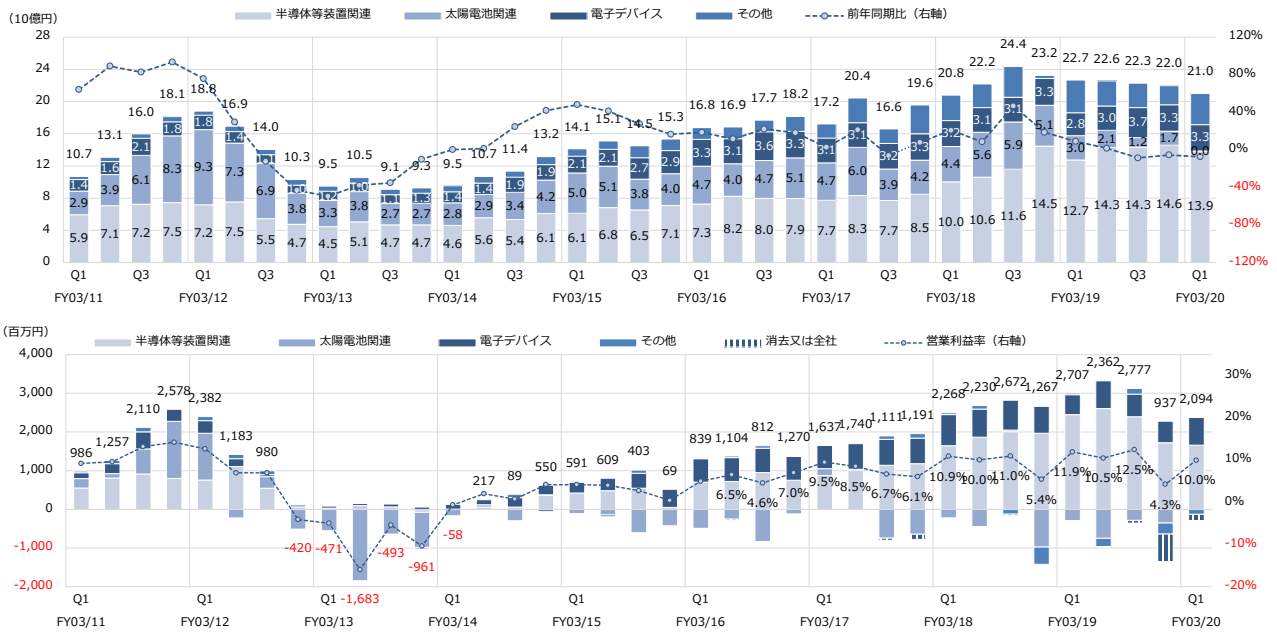
## 2020年3月期第1四半期決算（2019年8月14日発表）

2020年3月期第1四半期（2019年4月～6月）実績

- ▷ 売上高：21,002百万円（前年比7.4%減）
- ▷ 営業利益：2,094百万円（同22.6%減）
- ▷ 経常利益：1,790百万円（同0.2%増）
- ▷ 親会社株主に帰属する四半期純利益：1,327百万円（同94.1%増）
- ▷ 第1四半期終了時点で、第2四半期（累計）および通期業績見通しの変更はなし

- ▷ エレクトロニクス業界の動向：海外における半導体メモリや液晶・有機ELパネルなどの設備投資が調整局面に入っている。設備稼働率もやや低めの水準で推移
- ▷ 同社の対応：半導体等装置関連事業では、半導体メーカーやデバイスメーカーから需要があるマテリアル製品の販売は概ね計画通りに推移。電子デバイス事業では、主力のサーモモジュールが、北米・中国・欧州市場の自動車販売台数の前年割れの影響で、自動車の温調シート向けで軟調となった。他の業界用途では堅調で、パワー半導体用基板は伸長した。
- ▷ セグメント報告区分の変更：旧「半導体等装置関連事業」「太陽電池関連事業」および「電子デバイス事業」の3区分を報告セグメントとして分類していたが、「太陽電池関連事業」は自社製品販売から撤退し、太陽電池向けシリコン製品のOEM受託製造のみ行っていることから量的な重要性が低下したため、報告セグメントから除外し、「その他」へ異動した。また、従来、「太陽電池関連事業」に属する製品として管理していた「石英坩堝」は製品用途・販売先業種が変化したため「半導体等装置関連事業」に含めることとなった。

## 四半期業績推移



出所：会社資料よりSR社作成

## セグメント別概観

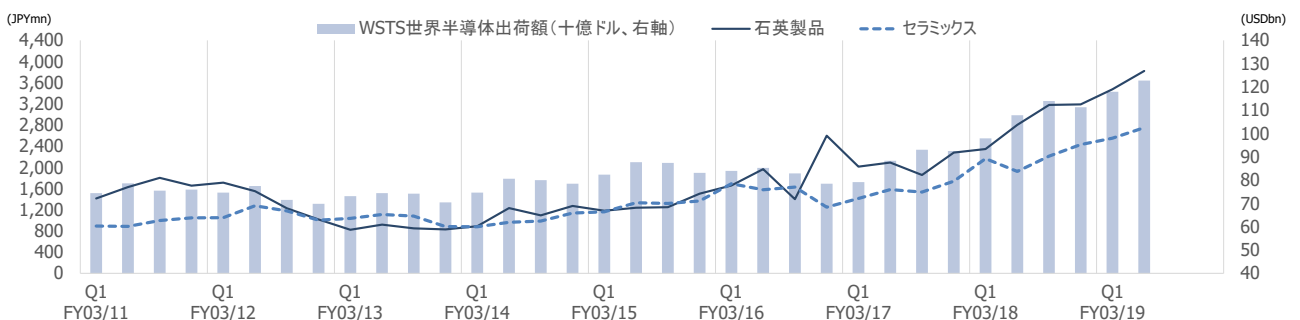
2020年3月期第1四半期（2019年4月～6月）実績

セグメント売上高は外部顧客への売上高、前年同期比は前年度実績をセグメント変更に伴う遡及修正後で算出

### 半導体等装置関連事業

- ▷ セグメント売上高：13,877百万円（前年同期比6.5%増）
- ▷ セグメント営業利益：1,665百万円（同32.2%減）
- ▷ 製品分野別動向：当事業の業績は、半導体製造装置メーカーの出荷および設備稼働率に連動。主力の真空シールは、半導体や液晶・有機ELパネルの設備投資が調整局入りしたことで、軟調に推移。マテリアル製品では、顧客であるデバイスメーカー向けが軟調。スマートフォンやデータセンターのサーバーなどに利用される3次元NAND型フラッシュメモリやD-RAMの価格が下落傾向となり、デバイスメーカーの設備稼働率がやや低水準で推移したことによる。ウェーハ加工は、上海工場における8インチウエーハの認定を順次取得し販売量は増加。装置部品洗浄（半導体製造装置、液晶パネル製造装置等の部品洗浄）も順調に伸長。石英坩堝は、概ね計画通りに推移した。

### 同社マテリアル製品とWSTS世界半導体出荷額の推移



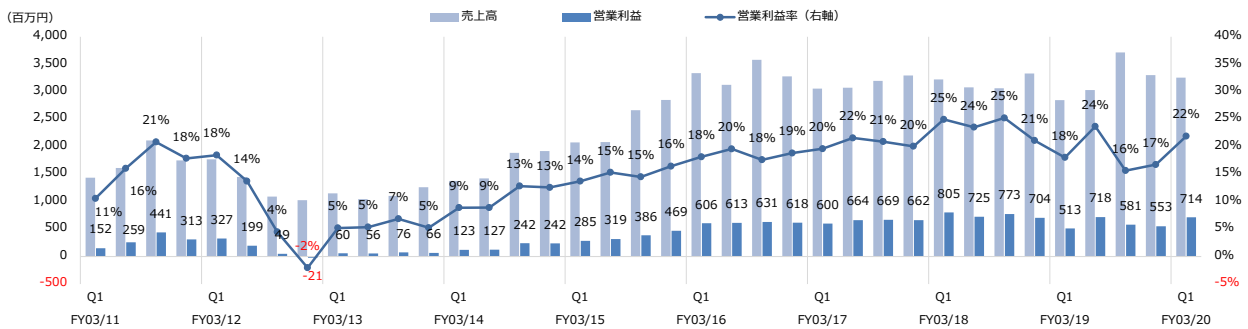
出所：会社資料よりSR社作成

\*石英製品は2016年3月期Q3の落ち込み及びQ4の大幅増は、売上計上時期の問題によるものでQ3及びQ4の売上を均すのが妥当

## 電子デバイス事業

- ▷ セグメント売上高：3,259百万円（前年同期比14.5%増）
- ▷ セグメント営業利益：714百万円（同39.1%増）
- ▷ 主力のサーモモジュールは、自動車温調シート向けが中国・北米市場の自動車販売台数の前年割れの影響を受けた。その他の用途では、移動通信システム、医療検査装置、バイオ関連機器などが概ね計画通りに推移。パワー半導体用基板は、順調に顧客開拓が進み、中国江蘇省の新工場稼働で、増産体制確立へ。磁性流体は、高位機種スマートフォンの販売台数減少からバイブレーションモーター用途が軟調。

## 電子デバイス事業四半期業績推移



出所：会社データよりSR社作成

## その他

- ▷ セグメント売上高：3,866百万円（前年同期比43.1%減）
- ▷ セグメント営業損失：122百万円（前年同期の営業損失246百万円）
- ▷ 事業内容：ソーブレード、工作機械、表面処理などの事業や、セグメント変更により、旧太陽電池関連事業から移管された太陽電池用シリコン製品等

セグメント変更：2019年3月期より従来はその他事業に含まれていた洗浄事業を半導体等装置関連事業に移管している。そのため、過去との比較が難しくなっているが、本レポートでは表・グラフに関しては2019年3月期以降の数値を用い、文章中の前年比等は移管後の数値を基にしている。また、2020年3月期より、従来の太陽電池関連事業が報告セグメントから除外されていることから、前年度については、同社の公表する遡及値を基にしている。

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

### ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

### 金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

### 連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.  
東京都文京区千駄木3-31-12  
HP: <https://sharedresearch.jp>  
TEL : (03)5834-8787  
Email: [info@sharedresearch.jp](mailto:info@sharedresearch.jp)